

「第1回とうほうフードドライブ」贈呈式の実施 ～社会福祉法人福島県社会福祉協議会との連携協定に基づく施策～

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）は、生活に困難を抱えた個人・世帯等への支援や地域福祉の推進を図るため、2023年1月30日（月）～2月6日（月）の期間において、「第1回とうほうフードドライブ」を実施し、期間中に集まった食品（866点、約130kg）や日用品（831点）などを、2月21日（火）に社会福祉法人福島県社会福祉協議会に寄付しましたので、お知らせいたします。

本取組みは、2023年1月24日に福島県社会福祉協議会（会長 北村 清士）と締結した「食品提供等に関する連携協定（※）」に基づく施策です。今回は、東邦銀行本店ビル・事務センターに勤務する職員を対象に実施しました。

当行は、今後もフードドライブの活動を通じて、生活に困難を抱えた個人、世帯等への支援や地域福祉の推進、SDGsに対する取組みをより一層強化してまいります。

（※）「食品提供等に関する連携協定」の連携事項は以下のとおり。

- （1）生活に困難を抱えた個人・世帯に対する食品等の提供
- （2）フードドライブによる食品等の募集活動
- （3）広報活動の推進
- （4）その他前条の目的を達成するために必要な取組に関する事

記



【期間中に集まった食品や日用品などの一部】



【贈呈式の様子】

関連するSDGs



東邦銀行グループでは、『とうほうSDGs宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。

以上